

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和6 年度実施分

施設名	河辺学童保育所、霞台学童保育所、若草学童保育所		
指定管理者名	知創株式会社		
指定管理期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	担当課	子育て応援課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられない子どもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価内容	評価方法	指定管理者 評価	評価理由	市評価	評価理由
管理 状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書、 月次報告書	S	協定や事業計画にもとづき、施設の設置目的に沿った事業運営ができた。人員配置については、加配児童数に合わせた適正配置ができる様努めた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書、 月次報告書	S	月次報告を、納期の延滞無く、定められた期限前に書類提出を行った。	A	定められた期限に確実に報告されている。また期限前に提出することを常態としている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	現地調査	A	「安全第一」の社方針に則し、また協定や事業計画にもとづき、安全性確保を最優先に、施設の運営・管理を行った。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査	A	適正に実施した。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	事業報告書、月次報告書	A	新たに什器等を追加購入し、適正に実施した。	A	適正に実施している。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	事業報告書、ヒアリング	A	災害発生時のマニュアル等を整備し、避難訓練の開催や連絡体制を確認している。	A	緊急時の連絡体制や危機管理体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	事業報告書、ヒアリング	A	集団研修および個々の研修強化も出来て、会議にて緊急時の対応確認を行っている。	A	適時訓練や研修を実施し、緊急時の対応確認を行なっている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書、現地調査	A	適切に実施した。	A	適切に管理している。
事業 効果 等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書、月次報告書	S	積極的に季節のイベントや毎月の誕生日会を開催し、取り組む事ができた。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書、月次報告書	A	夏季休暇期間猛暑の影響で戸外活動が制限されてしまう事があったが、それ以外の事業計画は実施でき適切な保育を実施した。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されており、計画どおりの利用状況となっている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート	S	アンケートの実施(9月)に合わせて、6年度より自由記述の項目を新たに追加し、利用者意見の収集に努めた。	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート	A	多くの保護者の方からご満足の声をいただく一方で、時にはご意見やご指摘もあった。そうした声を職員間で共有し、改善に取り組むことができた。	A	利用者アンケートを実施し、概ね良い評価が得られている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート	A	アンケート内容を踏まえ、改善対応に努めた。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているかなど	事業報告書、月次報告書	S	担当課と情報共有を欠かさずに児童に一人ひとりに寄り添った支援と対応ができた。	A	担当課と密に連携し、適切に運営していた。また学校等の関係機関と情報共有を行い、連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書、月次報告書	A	提案した日替りプログラムは、アンケート結果や利用者の声を踏まえ、一部の実施を見合わせる事があった。	A	提案どおりに実施している。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書、現地調査	S	鍵付き書庫や自社専用サーバーで適正に整備し、管理している。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書、現地調査	S	選任を決め、適正に管理している。	A	適正に管理されている。
収支 状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	事業報告書、決算報告書	S	営業利益も増加傾向にあり経営は安定している。	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	事業報告書、決算報告書	S	前年度は微増な増収であったが、今年度施設収支は人件費等の改善を行った為大幅な改善ができた。 8.89%	A	法人として適切に運営されている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	事業報告書、決算報告書	S	経常利益率は、プラスとなっている。 36.6%	A	法人として適切に運営されている。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	事業報告書、決算報告書	S	流動比率は高い水準を維持しており、事業継続の安全性に不安はない。 180.1%	S	法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	11
A	10
B	0
C	0

記入欄

協定や事業計画に基づき、経営理念および保育方針に沿った事業運営を行った。安全・安心で楽しい学童クラブを目指し、季節ごとのイベントや誕生会などの年間行事を積極的に実施し、子どもたちの楽しみと成長につなげた。
 年度当初には職員配置を見直し、風通しの良い労働環境となる様に整備した。
 学校の担任教員と情報交換を行い、学校との連携を強化することで、児童一人ひとりに寄り添った運営を実現した。
 加配児対応では、児童数に応じた適正な人員配置に努め、運営体制を整備した。さらに、支援員全体のスキル向上を目的に、事前計画のもとチームワーク研修や虐待防止研修を実施し、子どもたちが安全かつ安心して過ごせる環境づくりに注力した。
 また、「タヤけランド」との交流も始まり、活動の幅が拡大。今後は地域活動への参加も視野に入れ、さらなる展開を模索していく。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	2
A	19
B	0
C	0

記入欄

- ・協定や事業計画に沿って、適切に事業の実施・管理運営を行った。
- ・定期的に実施している全事業者による定例会議では、管理責任者に加え、現場担当も出席することで、それぞれの現場での課題等に対し、情報共有し、対応策も考え、各学童クラブの質の向上につなげている。
- ・学校や関係機関と定期的に情報共有を行い、また担当課とも連絡を密にとりながら学童保育所の運営を実施した。
- ・児童や保護者と円滑なコミュニケーションをとっており、そのことが利用者の高い満足度につながっている。